

三小タイムズ

令和2年10月30日発行 校長 辻 久恵

三小ギネス

運動会の代替案として「三小ギネス」が10月19日～30日の期間行われました。

児童の願いを大切に、「児童と教師がともに創り上げる運動会に代わるものを！」という教職員の思いでスタートしました。

六年生が、様々な案を考えたのですが、校医の薬剤師さんからお話を聞いて、今までの運動会の競技は不可能ということに納得しました。そして、プロジェクトチームを発足し、全校児童にアンケートをとり、実施できる内容を決めていきました。

アンケートのことや、実施の方法については、六年生がズームで全校児童に呼びかけていきました。その結果、上記のお知らせを全学級に配布し、「三小ギネス」が行われるようになりました。

下記のポスターは、六年生が種目について詳しく示し、みんなが「やってみようかな」と思えるように作成してくれました。これはほんの一例で、校舎の中は、様々な種目もポスターで一杯でした。

当日の運営も六年生が種目ごとに行ってくれました。右の写真は、一番がズームで全校児童に呼びかけている様子です。次の2枚は、校庭で輪投げ、フラフープに挑戦している様子です。その次の2枚は体育館でバランス棒、反復横跳びにチャレンジしている様子です。

「簡単な運動遊びを通して運動に対する前向きな態度をはぐむ」というねらいのもと、どの学年の子どもたちも「自分の記録を伸ばす」ことを目指して頑張っていました。

コロナだからできないとあきらめるのではなく、コロナ禍でできることをうみだし、企画・運営にあたった六年生は計り知れない力を付けたことと思います。

また、チャレンジしたい種目を決めて、「自分の記録を伸ばす」ということに取り組んだ三小の全校児童は、目標に向かってチャレンジし、達成した喜びを感じ取ったのではないのでしょうか。

頑張った六年生、全校児童、児童の願いを大切にサポートした教職員も素晴らしい！「三小ギネス」有意義な取組だったと思います。

